

リニア中央新幹線情報 No. 20

大鹿村役場総務課
平成28年6月15日

大鹿村リニア対策委員会報告

大鹿村ではリニア工事による生活や環境に与える影響をできる限り少なくし、リニア工事が地域経済や村づくりに貢献されるよう、「大鹿村リニア対策委員会」で要望事項や対策を検討しています。
第15回及び第16回の対策委員会の内容を報告します。

- 第15回リニア対策委員会（4月20日 13:30～16:30開催） JR東海、中部電力、長野県、鹿島JVが出席し、4月27日開催のJR東海による住民説明会の説明内容を協議しました。
- JR東海による道路改良等の影響対策の住民説明会（4月27日開催 大鹿村交流センター 130人出席） ※住民説明会の詳細は、広報おおしか7月号でお知らせいたします。
- 住民懇談会（5月9日～30日 村内8会場で開催 延べ130人出席）の際に、4月27日のJR東海による住民説明会の説明概要10項目を報告し、懇談を行いました。
- 第16回リニア対策委員会（5月31日 13:30～15:50開催）
 - ・住民懇談会におけるリニア事業に関する住民からの質問・意見・要望を集約し、リニア影響対策の課題等について協議を行いました。
 - ・リニア送電線計画に関する今後のスケジュールについて、中部電力より文書報告がありました。関係自治会への説明（H28年6月～7月）、現地踏査・技術測量、地質測量（H28年8月～）、用地測量等（H28年10月～）
 - ・H26年12月からJR東海で実施している、水資源に関する事後調査・モニタリングの調査結果について4月に村に報告がありました。調査結果には個人水源も含まれるため、今後公表の仕方についてJR東海と協議を進めます。

住民懇談会での質問・意見・要望	村の回答
① 松川インター大鹿線の改良について	
■トンネル(新設)について JR東海と長野県が協力して2本の県道トンネルを新設する。工事発注はJR東海が行う。(仮称)西下トンネル/桐ヶ久保橋先～四徳大橋近くのダム湖側の桜並木まで約880m (仮称)四徳渡トンネル/四徳大橋先～滝沢トンネル手前まで約1,200m ■道路拡幅について 渡場～西下トンネル間の5箇所で拡幅を行う。長野県が工事発注する方向で協議中。改良延長合計:約930m	
(1) 拡幅工事について、同時に複数箇所を施工すると通行に支障がある。工事の計画をどのように考えているか？（交流センター 男性）	⇒住民生活に支障のないような施工方法を取り入れるよう、設計段階から努めていきます。
(2) 道路改良について、全線2車線にならないのか？四徳大橋の拡幅ができないのは仕方ないが、この機会にできるだけ改良してほしい。（交流センター 男性）	⇒今回のJR東海の改良工事では全線2車線になりません。拡幅改良箇所以外で渋滞等の支障が生じた場合について、JR東海と道路管理者（長野県）で速やかに対応を行います。
(3) 改良工事について、できる限り片側通行で工事を行うよう要望してほしい。（鹿塩地区館 男性）	⇒現在検討を行っており、通行止め時間帯、迂回路等については工事説明会で説明される予定です。
(4) 改良工事について、改良箇所決定に至った経過を説明願う。（東部地区館 男性）	⇒箇所選定はJR東海のシミュレーションに基づき、昨年6月の住民説明会、四者（JR東海、長野県、中川村、大鹿村）協議を経て決定しました。
■四徳大橋について(拡幅の検討)	
(1) 四徳大橋について、工事車両の増加による橋の耐力不足を心配する。（交流センター 女性、大栗集会所 男性）	⇒道路管理者（長野県）で、橋梁点検、長寿命化対策を行っています。長野県に再度確認を行ない、リニア情報等で報告します。
(2) 四徳大橋を拡幅してほしい。（大河原消防詰所 男性）	⇒アーチの無い部分の欄干を外付けする拡幅をJR東海と長野県で検討しました。検証の結果、地震時に橋の耐力が不足するため、欄干の付け替えによる拡幅はできません。
(3) 四徳大橋の松川側について、四徳大橋～新設の（仮称）西下トンネルの間で狭隘箇所がある。渋滞箇所となる可能性があり、検討がなされているか？（交流センター 男性）	⇒対策委員会でも意見があり要望しましたが、現在のところ改良計画はありません。交通誘導員を配置して対応します。
(4) 四徳大橋の待合車両について、大型車に交じって普通車も制御されるのか？交通誘導は臨機応変に対応願う。（鹿塩地区館 男性）	⇒交通誘導員による対応となるため、柔軟に対応してもらえとは思いますが、不都合あれば工事連絡協議会で申し入れをしていきたい。
■半の沢橋付近について(測量の実施) 県道トンネル工事(2本)で発生する発生土の置き場の候補地として、測量作業を実施した。今後、地質調査や設計を行い、発生土置場として利用可能かどうか検討を進める。	
(1) 昔から大鹿に住むものとして、松川インター大鹿線は良くなってほしい。半の沢に発生土が置けない場合、半の沢橋の通行はどうなるか？（東部地区館 男性）	⇒中川村から発生土置場候補地として提案されており、中川村、大鹿村で県道として活用できるよう長野県に要望しています。
② 赤石岳公園線の改良について	
■拡幅検討箇所について(上蔵地区、釜沢地区) 9箇所(上蔵集落内2箇所、村道中央線三叉路先、赤石荘手前、赤石荘上、日向休手前、林道釜沢線三叉路手前2箇所、荒川荘上)の拡幅のほか、1箇所(日向休)でせり出した岩を削り取る。	
(1) 拡幅箇所について、リニア工事が終われば元の道路幅に戻ってしまうのか？（交流センター 男性）	⇒県道として利用していきます。
(2) 資材運搬車両はどのくらいの重量・大きさのものが通行するのか？（釜沢集会所 男性）	⇒セルフローダー（荷台8m、幅2.5m）で計画しています。
(3) 大型車の通行に伴う振動等により、落石、土砂崩れを誘発する可能性があるか、事前に道路点検を行ってもらえないか？（釜沢集会所 男性）	⇒道路管理者（長野県）で管理・点検を行っており、可能性はないと考えます。
(4) JR東海の拡幅検討箇所以外で工事用車両が増えた場合に危険と思われる箇所がある。（釜沢集会所 男性・女性） I 赤石荘上のS字カーブは大型車と対面した時に待避が困難。 II 赤石荘上のヘッドタンク先のカーブミラーが欠損している。 III 日向休のゴミ捨て防止用ネットがある場所のカーブミラーがネットと重なり見えにくい。 IV 上蔵坂の段差箇所は、通行の際に車体が傾き大型車とのすれ違いの際に危険。 V 日向休の落石防護フェンスのところは降雨の際に水が流れ、舗装のひび割れから水が浸透する。 VI 赤石荘上のヘッドタンクのところにガードレールがない。 VII 赤石荘下のカーブについて、道路際の立木により見通しが悪い。立木を伐採するだけで見通しが良くなる。	⇒長野県に要望します。
■福德寺前の迂回路(案)について 迂回路は2案を想定。今後、地権者及び耕作者の意向を確認し、測量・設計を実施した後に改めて迂回計画を示したい。	
(1) 村道上蔵1号線の拡幅改良工事と福德寺前の迂回ルートの工事は期間が重なることがないように要望する。（上蔵集会所 男性）	⇒JR東海、長野県と協議・調整します。
(2) 福德寺前の迂回ルートについて、村でトイレの設置計画もあり総合的に考えてほしい。（上蔵集会所 女性）	⇒JR東海、長野県と協議・調整します。
③ 国道152号線 工事用車両通行について	
■村中心部の国道152号線を回避する、小渋川沿いの迂回ルートについて 小渋川、青木川を合計3回渡河し、小渋川左岸(沢戸前)～小渋川を渡河)～ろくべん館前～青木川を渡河)～由井神～小渋川を渡河)～国道152号線)を通行するルートの検討を進める。	
(1) 仮設橋は工事後に撤去となることを住民が理解しているか？村で住民に周知すべき（交流センター 男性）	⇒迂回ルートは仮設であり、工事後は撤去となります。リニア情報等で周知します。
(2) 村中心部の迂回ルートについて、工事用車両が国道を横断する際の渋滞を懸念する。（下青木公会堂 男性）	⇒交通誘導員を配置する予定です。
(3) ろくべん館前の盛土の高さを説明願う。（下青木公会堂 男性）	⇒村で文化施設の建設計画があり、ろくべん館と同じ高さとしたい。
(4) ろくべん館前の駐車場を確保願う。（下青木公会堂 男性）	⇒駐車場を確保できるような迂回ルート計画となるよう協議しています。

(5) 迂回ルートにより、新小渋橋付近の水田が潰れ地となる場合は、村がJ R東海と協議、交渉してくれるか？(下青木公会堂 男性)	⇒村として、道路計画協議を行うこととなります。
(6) 国道152号の迂回について、左岸ルートの通行は音が反響する。J R東海で防音壁を検討しているか？(大河原消防詰所 男性)	⇒現在計画はありません。モニタリング結果により必要あれば要望します。
■工事用車両通行について(青木地区) 昨年下青木、上青木、北の原のみなさんとの懇談内容を踏まえ、今後、測量成果をもとに改良予定箇所を選定や設計を進め、計画を示したい。	
(1) 和合橋～ろくべん館に向かって迂回ルートとしない理由は？(下青木公会堂 男性)	⇒砂防施設、文化施設への支障があるため。
④ 村道改良計画について	
■村道改良計画(上蔵河原線、沢戸河原線)について 小渋川非常口に通じる村道(上蔵河原線、沢戸河原線)の一部区間において大型車同士のすれ違いが困難な狭隘な箇所があり、拡幅、舗装増等の検討を行う。	
⑤ 発生土の仮置き計画と工事用車両の平準化について	
■大鹿村内の発生土仮置き場候補地について (釜沢地区)候補地4箇所の容量:約23万m3 (上蔵・青木地区)候補地4箇所の容量:約31万m3	
(1) 三正坊の発生土の仮置き計画について、現在耕作している人がいるため、早めに地権者等に話をしてほしい。(釜沢集会所 男性)	⇒要望しています。
(2) 三正坊神社跡地について、石段が埋まっているとの話もあり、一度調査したい。村で調査に協力いただけないか？古墳との話もある。釜沢出身の人にも聞いてみる。(釜沢集会所 女性)	⇒県教委文化財担当者による現地確認の結果、当該箇所は河岸段丘のような平坦な地形の中に巨岩が露出している状態で、神社跡地はこの岩山である。古墳が存在したのであれば、平坦地が居住地または耕作地として利用されたはずで、遺跡として認識されてしかるべきである。また、古墳群として複数の古墳が存在するはずであり、その場合、居住地及び耕作地を見渡せるような場所に立地するのが通例である。以上のことから、三正坊神社跡地が古墳である可能性は、限りなく低いとの回答を得ています。
(3) 発生土仮置き場候補地について、いつ・どのように決定となるのか？釜沢住民との合意は？(釜沢集会所 女性)	⇒地元との協議のうえで候補地を選定しており、事後調査、行政手続きを経て決定となります。
■工事用車両台数の推移(平準化)について 8箇所の発生土仮置き場を確保することにより、一日最大1,736台(往復)の通行車両を1,350台まで減らすことができる。	
(1) リニア工事用車両の通行について、大河原方面から役場の横を通って鹿塩方面に行く際に、大鹿トンネルから出てくる工事車両により、右折するのが大変でないか心配する。(鹿塩地区館 女性)	⇒一日最大1,736台(往復)の工事用車両は、1分間では片側1.8台であり、右折の際に影響する台数ではないと考えます。
⑥ 環境影響対策について	
(1) 地下水・水資源の保全措置に係る薬液注入工(地盤改良材として薬液を注入してトンネル坑内への透水性を下げる工法)について、沢水へしみ出した場合の影響を心配する。(交流センター 女性)	⇒対策委員会等でも質問しました。濁水処理のうえ環境基準値以下にした後に放流するとのJ R東海の回答を得ており、再度確認、要望していきます。
(2) 猛禽類調査について、調査結果は公表されるのか？(釜沢集会所 女性)	⇒公表されません。専門家の中で対策を検討していきます。
(3) 和牛の繁殖を行っており、水枯れを心配する。減水した際にすぐに水を補給いただけるか？(下青木公会堂 女性)	⇒流量減少、枯渇等の兆候が見られた場合には、水利用者に支障をきたさぬよう応急対策を実施します。その後も流量観測を実施し、因果関係を確認の上、水利用者と話しながら、必要な恒久対策を実施します。
(4) 青木川非常口近くに住むものとして、トンネル工事による振動等の影響を心配する。(下青木公会堂 女性)	⇒地下の工事であるため、地上での生活への影響はほとんどないと思われま。
⑦ 地域との連携について	
(1) J V宿舎の周りにはフェンスが設置されると聞いた。近傍のイチゴハウスへの風が遮断される可能性があり、ネットフェンスしてほしい。(大河原消防詰所 男性)	⇒要望しています。
(2) リニア工事に対するの不安があり、J R東海には工事説明会前に地元との懇談をお願いしたい。(下青木公会堂 男性)	⇒要望します。
(3) 協議会を設置する場合は、現場のことがわかる地元住民を多く入れてほしい。(下青木公会堂 男性)	⇒考慮します。
⑧ 変電所について	
■変電所の造成範囲について 上蔵前に水田を含め約3haの用地を確保し、変電所(受電設備、変換器棟、出力側設備)の建設を計画する。	
(1) 上蔵前水田の耕作はいつまでできるのか？(上蔵集会所 男性)	⇒今秋まで作付け可能です。
⑨ スケジュールについて	
(1) 道路改良のスケジュールについて、松川インター大鹿線と赤石岳公園線の工事期間が重なる。釜沢から渡場までずっと工事中となり移動時間もかかるため、通行制限について配慮願う。(釜沢集会所 男性)	⇒できる限り影響が少なくなるよう計画しますが、止むを得ず部分的な通行止めをお願いすることになります。詳細は工事説明会で説明される予定です。
(2) 赤石岳公園線の拡幅工事について、具体的な工事着手はいつ頃か？(釜沢集会所 女性)	⇒最も早い箇所では初夏頃の工事着手を予定しています。
⑩ 送電計画について	
■15万4千V送電線計画について(中部電力)	
(1) 送電線ルートについて、どこを通るのかよくわからなかった。また、すべて架空線となるのか？(下青木公会堂 女性)	⇒大西山から中洞の南側、北の原の北側を通過し、鶯ヶ巣西側の谷間を下り、上蔵前に予定されている変電所までのルート計画とし、村内の鉄塔数は10基。送電線は架空で計画したい。
(2) 送電鉄塔について、本当は地中化が良いが、上蔵からの景観が悪化しないような送電計画してほしい。(上蔵集会所 女性)	⇒景観に配慮したルート選定を行い、低光沢の鉄塔・電線等の採用、一部線下伐採により鉄塔の高さを抑える景観対策を行います。
(3) リニアは地中化できるのに、送電線の地中化は地すべりを理由にできないのはおかしい。最初から架空を前提に地中化できない理屈をつけていったのではないか？景観を大事にしたい。(上蔵集会所 男性)	⇒地中化を要望し、中部電力でも地中化の検討を行いました。結果は送電線専用トンネル掘削による地すべりの誘発、故障復旧期間の長期化、設備更新時期等を考慮し、送電線は地中化ではなく架空で計画したい。また、中部電力が現地調査を行い、地権者に話を聞いたところほとんどが架空で良いとの回答であったとの報告を受けています。
その他 意見・要望等	
(1) 大型車の通行ルートとして、岩洞の活用は検討したことがあるか？(上蔵集会所 男性)	⇒以前も検討を行いました。今後も一部の通行車両を岩洞へ迂回させることにより、小渋線の通行車両を削減できないか検討を行っていきます。
(2) 岩洞の活用について、リニア工事により小渋線が混むようであれば、私たちが利用を考える必要がある。(釜沢集会所 男性)	⇒ひとつの選択肢であると考えます。
(3) 松川インター大鹿線をリニア工事車両が通行するため岩洞を通行したい。現在も砂利運搬車両が岩洞を通行しているが、その車両はどうなるか？(鹿塩地区館 男性)	⇒現在通行している砂利運搬車両は、従来どおり通行します。
(4) J R東海の変電所及びトンネルが完成した場合、固定資産税として村の収入となるか？(上蔵集会所 男性)	⇒固定資産税として村の収入になります。
(5) 赤石岳公園線 荒川荘上部の地すべり対策について、道路が下がっており、リニアの工事用車両の通行によりさらなる影響が懸念されるため、対策工事を要望する。(釜沢集会所 男性)	⇒道路・地すべり・砂防工事を含め、各方面へ要望していきます。
(6) リニアは悪い面ばかりでなく、これを契機に大鹿村の展望があると思う。村民がそういう意識を持つべき。(大栗集会所 男性)	⇒松川インター大鹿線の改良が進むことは、大鹿村のひとつの転機と考えます。大鹿村において、リニア開通後の振興策について、「大鹿村まち・ひと・しごと創生総合戦略」等、今後住民のみなさんと一緒に振興計画を立てていくこととなります。

※現在行われているリニア着工前の調査状況は、大鹿村ホームページ、大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送で確認いただけます。